

大会名 Competition	第29回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2016 年 5 月 4 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
洛 南	( 17 1st 22 8 2nd 18 27 3rd 19 13 4th 19 E P )	帝京長岡
65 ●		78 ○

主審:Referee  
北沢 岳夫 宮城  
副審:Umpire  
佐藤 匠 秋田  
中道 凌平 秋田  
テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
4	×	津屋 一球	CAP	23	2	7	3	1	4	×	神田 大輔	CAP	20	6	1	0	2	
5	×	福島 悠喜		11	3	1	0	2	5	×	遠藤 健斗		9	1	3	0	4	
6	×	柳川 幹也		0	0	0	0	2	6	/	高橋 凜太郎		0	0	0	0	2	
7	×	久能 有清		5	0	2	1	0	7	/	遠藤 善		0	0	0	0	4	
8	/	中島 海里		1	0	0	1	2	8	×	祝 俊成		4	1	0	1	1	
9	/	池田 楓		0	0	0	0	0	9	/	川崎 竣平		0	0	0	0	0	
10		安信 省吾		-	-	-	-	0	10		本間 陸		-	-	-	-	0	
11	/	大橋 大空		12	0	5	2	2	11		近藤 研吾		-	-	-	-	0	
12	×	津田 誠人		6	0	3	0	5	12	×	池田 大雅		12	0	5	2	1	
13	/	小西 聖也		5	0	1	3	4	13	×	TIRERA TAHIROU		22	2	5	6	2	
14		長崎 淳志		-	-	-	-	0	14	/	BULA GULORIDA		11	0	3	5	5	
15		笹山 陸		-	-	-	-	0	15		平野 行真		-	-	-	-	0	
16	/	飯尾 文哉		2	0	1	0	1	16		新保 圭介		-	-	-	-	0	
17		鶴田 雄也		-	-	-	-	0	17		多田 幹也		-	-	-	-	0	
18		田中 智也		-	-	-	-	0	18		佐野 翔太		-	-	-	-	0	
コーチ		吉田 裕司						0	コーチ		柴田 勲						0	
									コーチ		早川 永幸							0
合 計				65	5	20	10	19	合 計				78	10	17	14	21	

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、洛南は#4津屋が2本の3Pなどで得点するが、帝京長岡も#4神田が3Pを入れ返す。序盤から洛南は、声を掛け合ったディフェンスで帝京長岡のインサイドを防いでいたが、終盤に帝京長岡#14BULAにゴール下のシュートを決められると、連続して失点してしまう。洛南は#11大橋がドライブから得点を入れ返し、17-22で1Qを終える。

2Q序盤は帝京長岡が流れを掴む。開始2分間で#8祝の3P、#12池田のジャンプシュートなどで点差を一気に二桁とする。タイムアウトで流れを切った洛南は#12津田が連続得点して盛り返す。帝京長岡は3分以上フィールドゴールが無い状況となり、タイムアウト。タイムアウト明けに帝京長岡#5遠藤がゴール下のシュートを決めて23-32となったところで今度は洛南がタイムアウト。この後、洛南はフルコートでのディフェンスを厳しくするが、帝京長岡#4神田がそれをかいくぐってジャンプシュートや2本の3Pを決めて差を広げる。25-40で前半終了。

3Q始めに帝京長岡は、#14BULAのゴール下、#4神田の3Pで得点し、点差をこの試合最大となる20点とする。洛南はここから#4津屋を中心に反撃し、連続10得点。帝京長岡は、タイムアウト明けに4分以上ぶりになるフィールドゴールを#5遠藤が3Pで決める。ここから10点を挟んでのクロスゲームになるが、洛南は終盤に3Pを立て続けに決めて点差を一桁に戻す。52-59で3Q終了。

4Qになると、帝京長岡#13TIRERAがゴール下のシュート、リバウンド、さらに3Pまで決める大活躍を見せ、点差を再び二桁に広げる。洛南は立て続けにタイムアウトを取って立て直しを図るが、以降は点差が詰まらず65-78で帝京長岡が勝利を飾った。